

別表 1 5 気象警報・注意報発表基準表（佐賀市）

発表官署：佐賀地方気象台

強風注意報（平均風速）		暴風警報（平均風速）		暴風特別警報
10m/s [佐賀地方気象台12m/s] 以上		20m/s以上		数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合
風雪注意報（平均風速）		暴風雪警報（平均風速）		暴風雪特別警報
10m/s [佐賀地方気象台12m/s] 以上 雪を伴う		20m/s以上 雪を伴う		数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
波浪注意報（有義波高）		波浪警報（有義波高）		波浪特別警報
1.5m以上		2.5m以上		数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高波になると予想される場合
高潮注意報（潮位：T P上）		高潮警報（潮位：T P上）		高潮特別警報
3.8m以上		4.3m以上		数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合
大雨注意報		大雨警報		大雨特別警報
表面雨量指数基準	土壌雨量指数基準	表面雨量指数基準	土壌雨量指数基準	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
12以上	119以上	27以上	147以上	
洪水注意報		洪水警報		※洪水に係る特別警報は実施されず、引き続き指定河川洪水予報で対応される。
流域雨量指数基準 河川ごとに設定		流域雨量指数基準 河川ごとに設定		
大雪注意報（12時間降雪量の深さ）		大雪警報（12時間降雪量の深さ）		大雪特別警報
平地 （標高200m以下）	山地 （標高200m超える）	平地 （標高200m以下）	山地 （標高200m超える）	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合
3cm以上	5cm以上	10cm以上	20cm以上	
津波注意報		津波警報		
0.2m ≤ 予想高さ ≤ 1m 津波による災害のおそれがある場合		津波	大津波	
		1m < 予想高さ ≤ 3m	3m < 予想高さ	
雷注意報				
落雷等により被害が予想される時				
乾燥注意報				
最小湿度45%で、実効湿度65%				
濃霧注意報（視程）				
陸上	海上			
100m以下	500m以下			
霜注意報（最低気温）				
早霜（11月30日まで）	晩霜（3月15日以降）			
4℃以下				
なだれ注意報				
積雪の深さ100cm以上で次のいずれか				
1 気温3℃以上の好天				
2 低気圧等による降雨				
3 降雪の深さ30cm以上				
低温注意報				
夏期（平均気温）	冬期（最低気温）			
平年より3℃以上低い日が3日続いた後、さらに2日以上続くと予想されるとき	平野部で-3℃以下			
着氷・着雪注意報				
気温-2℃～2℃の条件下で降雪量15cm以上				

  

現象の種類	基準
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合 （大津波警報を特別警報に位置づける）
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 （噴火警報（居住地域）を特別警報に位置づける）
地震	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 （地震動） （緊急地震速報（震度6弱以上）を特別警報に位置づける）
※警報・注意報名欄の（ ）は、基準となる気象要素などを示します。 ※ [TP上] は、東京湾平均海面からの高さを基準として用いることを意味します。 ※表面雨量指数は、短時間強雨による浸水危険度の高まりを把握するための指標です。 ※土壌雨量指数は、降雨による土砂災害発生の危険性を示す指標で、土壌中に貯まっている雨量を示す指数です。 土壌雨量指数基準は、佐賀市における基準の最低値を示しています。	